

令和5年度 事業計画書

[こども育成課]

1. 事業方針

基本方針:「街とともに 未来を育む 人づくり」

第5期指定管理運営基本方針を令和5年度の事業方針とし、地域住民や市民の協力のもと、子育ての活動拠点施設として、児童の健全育成と社会課題の解決の双方に寄与する事業を展開する。

- ① 子どもの意見を反映させ、子どもとともに進める会館運営を目指します。
- ② 多様性を認め合い、自分らしく過ごせる環境を整え、子ども同士が互いに協力し あえる活動を目指します。
- ③ 児童会館の持つ多機能性を最大限に活用し、地域の子育て拠点となる事業展開を目指します。
- ④ 専門機関や財団他部門との連携を強化し、健全育成と子どもを取り巻く課題の解決を目指すとともに、エキスパートの育成を目指します。
- ⑤ これまでの運営ノウハウを礎に、新たな時代やニーズに即した運営方法の確立を目指します。
- ⑥ 効果的、効率的な組織運営を進めるとともに、より創造的な経費の活用を目指します。

2. 重点目標

(1) 地域活動等事業

「札幌まなびのサポート事業(遊学舎まなべえ)実施をとおした居場所の確立」

(札幌市保健福祉局保護自立支援課からの委託事業)

学習習慣を身に付けるとともに、継続した学習支援をとおして基礎的な学力の向上を図り、高校進学を促進する。また、当該事業をきっかけに実施日以外の継続利用に向けた取り組みを拡充し、中高校生の居場所としての児童会館のあり方を確立していく。また、将来的な学習支援事業のあり方や目標を設定し、達成に向けて着実に進める期間とする。

(2) 施設運営等事業

①「子どもをまんなかに据えた、子ども視点の児童会館運営」

全ての子どもが自分らしく、安心して健やかに地域の中で過ごせるよう、子どもや子育てをしている当事者の目線に立った会館運営を徹底する。子どもの権利を念頭に置き、これまで以上に子ども運営委員会活動の充実を図るとともに、日常活動においても、子どもと考え、子どもの意見を反映し「子どもたち一人ひとりが参加・参画する」施設運営を目指す。

②「敷居の低い施設を目指して～福祉機能の強化」

日常活動の中から、子どもたちや家庭の抱える課題や違和感に気づけるよう常に意識し、当事者の視点や立場に立ち、相談しやすい何気ない環境であり続けることを常に意識する。児童虐待、不登校、ネットいじめ、ヤングケアラーなど増加傾向にある課題に対し、子どもを取り巻くあらゆる環境を視野に入れ、協会他部門や外部の専門機関と連携し、一人ひとりの命と幸せを守る適切な対応を心掛ける。

③「あそびや体験活動機会の充実」

新型コロナウイルスの拡大により、児童会館を含めた地域活動・学校活動等における体験活動の機会が失われつつある。体験活動は学びの土台にもなるとされ、学習意欲の向上、自己肯定感や有用感の向上にもつながる。新型コロナウイルスの感染状況も踏まえつつ、地域の特徴や組織のスケールメリットを生かした体験活動機会の充実を図る。

④「地域連携の再構築」

これまで積み重ねてきた地域との関係性や事業ノウハウの活用も縮小せざるを得ない状況が長期に及んだ。「地域の中の子育ての拠点施設」となるべく、これまでのスタイルにこだわることなく、必要に応じて新たな地域連携や関係性を再構築し、地域一丸となった児童の健全育成を目指す。地域資源を最大限に活用し、郷土に対する愛着心を育むための活動を行う。

⑤「時代に求められるニーズの把握と活用の検討」

これまでの運営方法に固執することなく、時代のニーズや求める価値を適切に把握し、これに即した技術やスタイルの活用を検討していく。また業務の省人化、効率化の視点を常に持ち、業務の改善と発展につながる多くの可能性を検討していく。デジタル連絡帳の安定運営と発展、児童クラブ入会申請書のデジタル化検討、利用状況の可視化による適正な職員配置や将来の状況予測、有期職員採用をはじめとする事務のシステム化等をこども事業課と連携し進めていく。

3. 数値目標(具体的な根拠を示すこと)

	項 目	2023年度目標値	2022年度見込み
(1)	利用者総数(全市集計)	3,300,000人	3,217,210人
(2)	事業プログラム参加者総数	550,000人	536,045人
(3)	利用者アンケート 総合満足度	80%以上	87.9%
(4)	地域交流事業の実施 (ボランティア受入れ以外)	総数 400回 (1館あたり2回以上/年)	総数 853回
(5)	地域ボランティアの受入れ回数 (保護者を含む)	総数 2,400回 (1館あたり1回以上/月)	-
(6)	子どもの意見を反映した事業運営	総数 2,400回 (1館あたり1回以上/月)	総数 845回
(7)	自然体験活動の実施	総数 2,000回 (1館あたり5回以上/年)	総数 2,124回
(8)	利用者に対する相談援助業務	ケース会議数 2,400回 (1館あたり2回以上/月)	-

4.事業実施計画書(地域活動等事業)

(単位:千円)

No	事業名	目的・内容(対象・参加人数等)	時期・回数	収益	費用
1	札幌まなびのサポート事業 遊学舎 まなべえ (継続)	<p>・生活困窮世帯の中学生に対して、学ぶことの大切さを教え、学習習慣を身に付けるとともに、継続した学習支援をとおして学力の向上を図り、高校進学を促進することに加えて、自尊感情や自己肯定感を持てるようなかわりを行う。また、当該事業をきっかけに実施日以外の継続利用に向けた取り組みを拡充し、中高校生の居場所としての児童会館のあり方を確立していく。</p> <p>(生活困窮世帯の中学生・600名)</p> <p>*保健福祉局保護自立支援課からの委託事業</p>	<p>【R4年度実績予測】</p> <p>4月～3月</p> <p>40会場:各48回程度</p>	—	—
			<p>【R5年度】</p> <p>4月～3月</p> <p>40会場:各48回程度</p>	—	—

5.事業実施計画書(施設運営等事業)

(単位:千円)

No	事業名	目的・内容(対象・参加人数等)	時期・回数	収益	費用
1	講習会・発表会 (継続)	子どもたちの想像力を引き出すとともに、継続的な活動の中から達成感や自己肯定感の醸成を図る。館主体の活動から地域や保護者を取り込む新たな活動への展開を図る。 ・各種講座、クラブ活動発表会、育児相談会、子育てセミナーなど	【R4年度実績予測】 通年:660回	—	—
			【R5年度】 通年:540回	—	—
2	鑑賞会 (継続)	多様な文化や芸術に触れることで子どもたちの情操や感性を育む。 ・人形劇、読み聞かせ、映画、ビデオ上映など	【R4年度実績予測】 通年:2,495回	—	—
			【R5年度】 通年:2,800回	—	—
3	社会奉仕活動 (継続)	地域社会の一員としての自覚、地域への愛着、人とのつながりの大切さに気付くことを目的に実施する。 ・ゴミ拾い、施設訪問、防犯活動	【R4年度実績予測】 通年:80回	—	—
			【R5年度】 通年:95回	—	—
4	交流事業 (継続)	同世代、世代間交流等とおし、さまざまな人と関わることで子どもたちの社会性を育むとともに、地域の活性化に寄与する。地域との新たな交流事業の創出を図る。 ・子育てサロン、世代間交流、地域交流、他館との合同行事 オンライン交流事業など	【R4年度実績予測】 通年:10,000回	—	—
			【R5年度】 通年:11,000回	—	—
5	季節行事・パーティー (継続)	日本の四季の移り変わりや自然や風土文化を楽しみながら感じる心を育む。 ・ハロウィンパーティ、クリスマス会、大掃除など	【R4年度実績予測】 通年:570回	—	—
			【R5年度】 通年:750回	—	—
6	野外・自然体験活動	自然とのふれあいや体験活動とおして、創意工夫する楽しさ、協力することの必要性を学ぶ。意図的なプログラ	【R4年度実績予測】 通年:1,800回	—	—
			【R5年度】 通年:2,000回	—	—

	(レベルアップ)	ム展開により効果性の高い事業を実施。 ・野外体験事業、キャンプ事業、畑活動、遠足、登山など			
7	伝統芸能活動 (継続)	日本の伝統文化に対して興味関心を寄せる機会を設け、より良い文化を受け継いでいく心を育む。 ・伝承あそび、生け花教室、茶道教室、将棋教室、華道教室など	【R4年度実績予測】 通年：2,223回	—	—
			【R5年度】 通年：2,100回	—	—
8	体力増進・スポーツ (継続)	スポーツをとおして、健康の増進を図り、仲間とともに協力する大切さや、ルールやマナー等を学ぶ機会とする。 ・ダンス、かたき、サッカー、ドッジボール、一輪車など ・地域スポーツ団体と連携して実施(サッカー、バスケット、カーリング、スキーなど)	【R4年度実績予測】 通年：1,800回	—	—
			【R5年度】 通年：2,000回	—	—
9	【その他】 ア)子ども 運営委員会 (レベルアップ)	子どもの権利条約等を念頭に置き、事業、日常活動ともにこれまで以上に、子どもの意見を反映し子どもが参画する施設運営を目指す。意見表明から自己実現までのプロセスの中で、子どもたちの自主性や創造性を育むとともに、自己肯定感や他者受容、模範意識を学ぶ機会とする。	【R4年度実績予測】 通年：3,008回	—	—
			【R5年度】 通年：3,100回	—	—
	【その他】 イ)危機管理事業 (継続)	万が一の災害に備えて、利用者の安全確保のために危機管理の徹底を図る。 ・避難訓練	【R4年度実績予測】 通年：452回	—	—
			【R5年度】 通年：450回	—	—
【その他】 ウ)創作活動 (継続)	子どもたちの豊かな発想や想像力、創造性、創意工夫する力を育む。 ・工作会	【R4年度実績予測】 通年：1,860回	—	—	
		【R5年度】 通年：1,200回	—	—	
【その他】 エ)読書活動	本に親しむ環境を整え、興味関心を広げ、豊かな情操を育む。子どもたちの意見を取り入れた読書環境の改善を行い、読書活動の習慣化を図る。	【R4年度実績予測】 通年：260回	—	—	

	(継続)	・図書システムの導入に向けた検証を行う。	【R5年度】 通年:260回	—	—
--	------	----------------------	-------------------	---	---

9	【その他】 オ)学習活動 (継続)	学校や地域との連携を強化し、あそびと融合させながら学習効果を得られる活動の充実を図る。 ・学習レシピの活用など	【R4年度実績予測】 通年:59回	—	—
			【R5年度】 通年:100回	—	—
	【その他】 カ)リーダー 育成事業 (継続)	リーダー育成を推進し、次世代につながる育成に取り組む。 ・高学年リーダー育成	【R4年度実績予測】 通年:270回	—	—
			【R5年度】 通年:270回	—	—
	【その他】 キ)環境活動 (継続)	環境保全に対する意識の醸成を図り、環境に配慮した事業を行う。 ・環境プラザ連携事業 ・SDGsを意識した事業展開	【R4年度実績予測】 通年:70回	—	—
			【R5年度】 通年:70回	—	—
	【その他】 ク)合同行事 (継続)	ブロック内の児童会館の連携を強め、地域に児童会館の存在や役割をアピールする機会とする。	【R4年度実績予測】 通年:2,300回	—	—
			【R5年度】 通年:2,400回	—	—
	【その他】 周年事業 (継続)	各会館の周年事業を地域還元事業として実施する。 50周年:新琴似 40周年:屯田 他3館 30周年:光陽 他5館 20周年:厚別北小ミニ 他2館 10周年:幌南小ミニ 他2館	【R4年度実績予測】 通年:20館	—	—
			【R5年度】 通年:21館	—	—
10	ふり→たいむ事業	中・高校生が安心して過ごすことができる居場所作りを行う。中・高校生の活動、活躍の場をつくる。1週2回実施(長	【R4年度実績予測】 通年:週2回	—	—

	(レベルアップ)	<p>期休業中除く)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全市の中高校生の交流事業(バスケットボールなど) ・新たなプログラムや居場所について検討する 	<p>【R5年度】 通年:週2回 バスケットボール事業 通年:2回</p>	—	—
11	<p>児童会館実習 指導業務 (継続)</p>	<p>児童会館において教育活動に対する社会貢献の一環として将来の担い手となる実習生の受け入れを行う。また、受け入れをとおして、児童会館のPRと職員採用に向けた広報を行う。</p>	<p>【R4年度実績予測】 通年:8回</p>	—	—
			<p>【R5年度】 通年:8回</p>	—	—
12	<p>他都市連携・外部 連携事業 (レベルアップ)</p>	<p>全道・全国の児童館・児童クラブや民間企業や他団体との連携事業の展開により、新たなノウハウや情報の取得を目指す。こども家庭庁の動向を注視しながら、情報収集を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全道の指導者による情報交換の場(放課後子どもミーティング)を実施する。 	<p>【R4年度実績予測】 通年:1回</p>	—	—
			<p>【R5年度】 7月:1回</p>	—	—
13	<p>他課連携事業 (継続)</p>	<p>当財団各部署が持つ強みを繋げ合わせ「人材育成」や「事業連携」「情報交換」のレベルアップを図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若者活動支援、子どもコーディネーター事業と連携を図りながら個別援助業務に対応する。 ・こどもの劇場、企画事業課、野外施設課 男女共同参画センターとの連携 	<p>【R4年度実績予測】 通年:随時</p>	—	—
			<p>【R5年度】 通年:随時</p>	—	—
14	<p>広報活動 (継続)</p>	<p>児童会館のミッション・ビジョン・バリューの実現に向けて、活動協会内外への広報活動を展開する。また、児童クラブ見守りシステムとHPを連動させて、児童会館情報を素早く保護者に周知する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ニュースリリース ・あそぼの発行 	<p>【R4年度実績予測】 通年:随時</p>	—	—
			<p>【R5年度】 通年:随時</p>	—	—
15	<p>子どもの権利推進 事業 (レベルアップ)</p>	<p>子どもの権利条例等を念頭に置き、事業、日常活動ともにこれまで以上に、子どもの意見を反映し子どもが参画する施設運営を目指す。またより多く子どもたちの意見が行政や施策に反映できるよう子どもに対応する職員の意識醸成を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チャイルドセーフガーディング行動規範について職員周知および利用者、保護者、地域ボランティアへ広報活動 	<p>【R4年度実績予測】 通年:随時</p>	—	—
			<p>【R5年度】 通年:随時</p>	—	—

16	あそびのフェスティバル(仮称) (新規)	<p>幼児から大人を対象とした全市的なあそびの事業を行い、あそびをとおした世代間交流を図るとともに、広く児童会館活動を市民の方に理解していただく。また、職員の技術向上を目指し、職員同士が専門的技術を伝える場とする。</p> <p>・中島公園、こぐま座と連携したあそびの事業を実施</p>	【R4年度実績予測】 実施なし	—	—
			【R5年度】 通年:1回	—	—